

図書だより

〈第9号〉

昭和58年7月1日
呉工業高等専門学校
図書委員会



もっと 図書館へ

最近、本屋に入っても、その華やかさに圧倒され、以前程には、楽しさが感じられなくなりました。有名な角川商法以来、マスコミをフルに活用した宣伝と、ストーリーと関係ないヌード等の刺激の強いカバーの本が店頭を占め、私達の本選びも知らぬ間にこの流れに乗ぜられつつあるのでは。まして、ブランド指向の強い学生諸君の場合には……。宿直で寮を巡回中に、諸君の本箱にタマに見い出す蔵書にその影響を感じます。

さて、1980年度の全国の公立図書館(大学、学校を除く)の貸し出し冊数が1億4千万弱で、赤ちゃんからお年寄りまで国民1人当たりで1.6冊となり、15年前の16倍にもなったそうです。今なお、市の19%、町村の87%に図書館が無く、図書館を利用しているのは、国民の17%しかいない実情での数字です。本を初めて借りた人は、図書館の蔵書や、魅力にひかれて、以後、何度も通うようになるそうです。小さな市を超える程の予算と蔵書に恵まれた諸君は如何ですか。

図書館では、図書を購入する場合、本来図書館が、芸能、文化、知識の豊庫として備え置くべきものとして、教官の推選する本と、学生の希望や、ベストセラーズ等の時流も考慮して選定する本とがあります。この中から諸君が選んで読むワケで、いわゆる角川商法等の影響は少ないと言えます。学生時代の読書は各自のパーソナリティの形成に大きな影響があると言われています。

そこで、ある有名な図書館長の推めるよい本の基準を紹介します。

①本を読んで何かを発見できるような本。②正確な本であって、著者の考え方、人間性が迫ってくるような本。③読んで気分が爽やかになったり、美しい気持ちが湧いてくるような本。④著者が一生懸命に書いている本で著者の主張、分ってもらいたいことがにじみ出ている本。

これ等を参考に、諸君も、新しい知識や、知らなかった文化に触れて、眼の前のウロコが剥げ落ちるような読書を体験して下さい。

「原爆に夫を奪われて」

(岩波新書)

4C 竹 本 浩 二

原爆が落ちて廃墟となった広島街、もしくは、日本をここまで豊かな国にしてきたのは、当時の母親たちの力と根性なのかもしれないと思った。

ここでの2人の母親たちの場合。両方とも親又は、親代わりの人に勧められて、相手をよく知らないうちに結婚させられている。このことから考えても戦争中というのは、というよりは、昭和20年8月15日以前の日本においては、自分の愛する人と結婚するというよりは、国のために、数多くの男子を、兵隊をつくるために本人の意志とは、関係なく結婚していたということだろう。そして、この人たちは、結婚してしまうと、どんなにつらいことがあっても実家へは、戻らないという古い習慣から来た堅い意志を持っていた。

そういう気持ちで結婚して子供ができ、しばらくして夫を原爆によって失い、原爆が落ちて2～3日は、安古市のあたりから広島市内まで歩いて夫の消息を確かめに行っている。現在、僕が安古市から広島まで歩けと言われても、とてもそんな気にはなれないし、歩いて行くななんてことは、考えられないことだ。この区間を一人が、乳飲み子を背負って行き来する気力は、すごいものだと思うし、広島街にたどり着いてからも夫は、どのあたりにいるのか見当もつかないまま、何千、何万という死体を一体一体見ていったのかと思うと、現代の人々と比べ当時の人は、情深く夫に対する思いがたいへん深かったのだと言うことがわかる。

夫が死んでから数人の子供達を立派に育て上げるには、大変な苦労だったろうと思うけれど、今の僕には、多分どの程度のものかは、はかり知れないほどのものだろう。

一言に戦争と言えば、戦車や飛行機による殺し合いだけを思いうかべるけれども、戦場で死んで行く一人一人の男には、その家族がある。第一の働き手であるものが失われることによって、その家族は、それ以後、貧しく苦しい生活をしいられて来る。こ

れから先、自分のため、自分の家族のためにも決して戦争などは、起こすものではないと思う。



「ノミの反乱」

(青島幸男)

4A 中 山 み さ

青島幸男といえば、「人間万事塞翁が丙午」で直木賞を受賞した人だが、私にとっては、国会議員であった事や、テレビで放映中の「意地悪ばあさん」でのコメディアンの方がいづらかなじみがある。

ところで、この小説「ノミの反乱」は、広島を中心に展開される。主人公の富塚の勤める穴田ネジは不景気の中、経営は苦しくなる一方で、銀行ローンの支払いに四苦八苦するようになっていた。それでU銀行基町支店に出かけたものの、倒産しそうな会社金に金を貸すような銀行ではない。あっさり穴田ネジはわずか30万円の小切手が落とせなかったため倒産してしまう。富塚の住家は、社宅ということになってはいたが、ローンを払い終われば我がものとなるマイホーム。狭いながらも自分の家を持つことができて妻と娘は大喜びだった。ローンを払うのはきつかったが、それでも幸せな日々だった。それなのに……U銀行にダメされた形で会社は倒産。社宅ということになっていた我が家も取り上げられた。すべてはU銀行のために、三田村次長のためにブチコワされたのだ。その上、妻と娘は鉄道自殺。

すべてを失った富塚は、復讐を心に決める。日照権問題にからんで多くの人々が銀行に対して深い恨

みを持っていることを知り、中でも積極的な人物、高坂、仁井谷、米山と出会う。

それからというもの、富塚は、一円振り込み運動を起こしたり、銀行の前でビラをまいたりして決定的な闘争の段階、二井谷のいう、「天の時」を待った。

一方、U銀行では、市長の姪の奥井アキ子がオンラインを利用して70億円を横領していたことが明るみになった。この辺は、最近の伊藤素子の事件のようだ。

そしていよいよ「天の時」がやって来た。

オンライン・システムの盲点をついた反逆は、見事に成功。日本全体が混乱してしまう。

銀行にとって、我々は、蚤ぐらいの存在でしかない。一匹の蚤は、卑小なものだし、痛くも何ともない。ただ、蚤にゴソゴソ動きまわられるというのは、何とも不快な事に違いない。我々は仲間を増やし、蚤のように、ゴソゴソうさく動きまわってやる……。というのが、どうやらこの小説の主題のようだ。

「死にたがる子」

(藤原審爾)

4M 高 橋 勲

現代社会において、死にたがる子が、あまりにも多いように思う。新聞を見ていると、毎日のように、家出や自殺についての記事が載っている。なぜこのような事件が多いのだろうか。この本では、川辺秀樹という新聞記者を通して、世のすべての親・教師に忠告している。

新聞記者の川辺秀樹は妻の節子と男の子駿の三人暮らしである。その日、となりの的野洋服仕立屋の勇一少年が首つり自殺をした。川辺は、「子供の自殺はニュースになる。」と直感して死因の取材をはじめる。

秀樹は、勇一の通っていた学校へ行った。まず校長に会い、勇一少年は成績は中、性格はおとなしく、口数も少なく、非行歴なし。しかし、どこことなく影のある子だったという事を聞いた。彼はさらに担任教師に、勇一の父は競輪にこって生活費をいれず、母は飲み屋で働き、その店を経営する男と再婚する

ため、勇一をひそかに施設にいられたことを聞いた。

川辺記者は、勇一少年の母親の綾子にもあった。川辺が綾子に、勇一君が死んだのは母恋しさからではないかという、綾子は、自分のせいではないと責任のがれをして、すべて父親の野の責任にしてしまう。

その他、川辺記者は、勇一のいた養護施設や、勇一をかわいがっていたという近所の銭湯の隠居、作家の坂原や精神医学研究家の樺島教授などを訪ねて、自分なりの勇一少年の死因をさがしてゆく。

川辺記者は、最初、この自殺は理由なきものであると思っていたが、調べるにつれ、「いろいろな条件が重なり、なにかのショックで死を選択してしまったと考えたい。子供たちには、やはりほっておいても好きなことをして遊んでいられるような能力の機能を育てておかねばならないだろう。」と、結論を出した。だが、果たしてどうだろうか。自殺には他者をなっとくさせる合理的解釈などあろうはずがない。いわゆる欠損家庭ではなく、あたたかい愛情、ときに過保護の家庭のなかでも死をえらぶ少年があると聞く。その少年の死因はわからない。私に言えることは、勇一少年は遊びの自由な充実を求め、その相手になってくれるおとなの無償の相互依存、すなわち愛を求めているのではないだろうか。



「恍惚の人」

(有吉佐和子)

4E 北 裕 治

この「恍惚の人」という作品は、10年も前の作品である。故に、本作品の内容は10年前のものであり、古くなっているというのが普通であるが、本作品に関しては、古くなるどころか10年たった今日の方が、老人問題については深刻さを増しており、その意味で、本作品は、今こそ現実に社会問題にまでなっている「寝たきり老人」、「痴呆の老人」のことについて考えるための「教科書」となるべきだと思う。

本作品は、最近増えてきた痴呆の老人をテーマにしたもので、当然のごとく主人公の老人はボケている。しかし、この老人は周囲の人々に迷惑をかけながらも、全く悪びれることがなく、読んでいるうちに、思わず笑ってしまうことがある。つまり、ぼけた老人に、まともに対処していたら最後には自分の方がばかのように思われるからである。このようにこの作品は「老人問題」という深刻な事を主題にしながらも、重苦しい内容ではなく、どちらかといえば親しみやすい感じで、そして何よりも本作品の内容と似た事が多いということから、わりと読みやすい内容である。

昨年、24時間テレビで老人問題がテーマとなって、色々な老人が紹介されたが、ほとんどの老人がこの作品の老人と同じような症状だった。しかしテレビで紹介された老人の中には、家族から見離され、養老院に入れられている者も多かった。最近では、そのような家庭が多いそうである。そうしてみると、この作品は、ねたきり老人や痴呆の老人がとにかく家庭の中で家族の手によって介護されていた、古き、よき時代の最後的一幕を書き残したものといえるだろうと思う。

この作品で、痴呆症の老人の息子は、父親である老人に冷たく、一切の世話はすべて妻の手にまかせっきりにしてしまっている。中年になってしまった息子にとっては、老後の問題はすぐにやってくる。従って、自分の人生の延長線上に痴呆の父親がいて、

それが将来の自分自身であるかもしれないということになると、父親に冷たくするのも理解できる。

今、中年とよばれる世代は、趣味も少く、仕事が生きがいという者が多いが、その結果として痴呆というものが待っているとすれば、非常に寂しいことである。

老人大国日本にとって、ねたきり老人、痴呆老人の問題は、今後もっと深刻になってくると思われるが、痴呆の老人に対してどう扱うかを考えるためにも本作品は大いに役にたつと思う。

**強者は泥沼で戦う
「人間における勝負の研究」**

(米長邦雄)

電気工学科 加 藤 裕 一

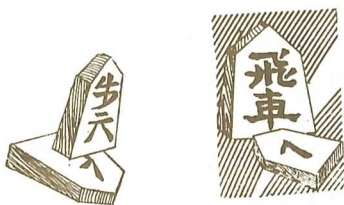
けんてんいってき
乾坤一擲賭す。勝つと狂気し喜び、負けると悲観し落胆する。勝負とは不思議なものですね。私は空腹時に、ストレート・コーヒーを喉に流し込むようにこれを楽しみます。アマチュアですから。しかし勝負を職業とする人は、これにどのような感覚でいるのか、以前から知りたかったのです。

学校を卒業し、就職した先の会社でちょっと囲碁の強い老人に囲碁を2年間教えてもらった経験があります。私はどんなに強い相手にも、六子以上は置かないのです。「初段の手を打ちなさい。私も初段の手を打ってあげます。最後まで初段の手が打てたなら君が勝つ。途中何手か初段以下の手を打つと君が負ける。君を負かそうと思えば、騙す手はいくらでも打てる。しかし、それでは君の碁の筋がねじける。だからそんな手は打たない。」いつもこう言って老人は碁を教えてくれるのです。実は、この老人(先生)は久井敬史という日本棋院九段なのです。この先生との思い出はたくさんありますが、転勤するまでこの人はどのような勝負感を持った人なのか、私には分かりませんでした。

昨年、何かのついでに本屋に立ち寄ったとき、米長さんの「人間における勝負の研究」という本が目にとまりました。勝負事に勝つテクニックでも書いてあるのかなと思い、立ち読みしたのですが、つい長くなり残りは家で読むことになったのです。米長

さんは、プロ将棋九段なのですが、氏の勝負感のほかに自分のおい立ち、修業時代のエピソードなど機知に富んだ話しが書かれています。人生の参考となる部分もあります。一度読まれることを薦めます。

米長さんの将棋感は次のようです。――将棋の世界は所詮闇市の世界である。定跡も過去の記録も何もないところで、相手と一対一で勝負する。いわばこの泥沼的な戦いのところで強者と弱者の創造力の差がはっきり識別され、強者のみが勝利を得るというのです。将棋は、過去何百何千局とさされ、各棋士はそれを日頃整理し記憶しておくのです。対局が始まると、頭の図書館から資料を取り出し、過去最も勝率の高かった手（最善手）をさしていく。終局まで最善手をさし続けたなら、必ず勝利を得ることが出来ると考えるのは研究熱心な人が陥ちやすい過ちであるといっています。相手も同じく最善手をさすのです。初手から何手か先になると最善手の応酬で、局面は飽和に達し、次の最善手が、どれか分からなくなる。どうさしてよいか分からなくなる状態になるのだそうです。ここから、ほんとうの勝負、中盤の力と力のねじりあいが始まり、やがて、力の差が出るのだそうです。弱い人ほど、結論を早く出し、一手、二手で局面をリードする短絡的な手をさし、自滅するのだそうです。――この話、なかなかおもしろいと思いませんか。



学生時代の一冊

建築学科 角 舎 輝 典

私は、今春4月より建築学科に御世話になっております。学生から社会人になったばかりですので、なかなか学生気分が抜けませんが、多少なりとも雰囲気慣れしてきたところです。

本校建築学科の11期生で、54年3月に本校を卒業

し、同年4月、豊橋技術科学大学建設工学課程に編入学し、学部3年、4年を経て同大学院に進みました。大学に進学した当初は、何故、自分が勉強をするのかという目的意識が乏しく、ただ惰性で学生生活を続けていたように覚えています。ですから勉強が苦痛であり、単に卒業できれば良いだろうという考えになっていたのです。しかし大学院へ進学してからはそんな具合ではうまく行くはずがありません。勉強というものは、受動的ではなく能動的でなければはかどらないし、又面白くないのです。それが徐々に理解できた時にはかなり時間が経過していました。今顧みて自分は随分遠回りをしたと思っています。高専に在学している時、それがわかっていればどんなに学生生活を楽しく過ごせていた事か……。そうして能動的に勉強を開始した時、本の重要さに気がきました。自分一人で四苦八苦しても解けない事象が本を読めば一目瞭然なのだからこれほど便利なものはありません。しかし本でもより目的に合致した本であれば勉強は著しい捗りを見せます。その為それを見つけ出すのも勉強の一つと言えます。

私は室内音響の有限要素解析というテーマで研究を進めていました。それに関する情報を収集し、それに基づいて勉強を行っていたのですが、残念な事にその分野の適当なテキストが見い出せず、他の分野のテキストを使用し、それと照合しながら苦しんでいました。そうして修士論文締切前2ヶ月になって今回紹介する『有限要素法による振動・音響工学基礎と応用』という本の存在を知りました。この本と出会った時「あっ、この本をボクは捜していたんだ」と感じ、なぜもっと早く出会えなかったのかと残念に思いました。

本の内容を簡単に説明します。この本は有限要素法により音響問題を解析している本であり、振動問題と並行して解析している為、他の分野の人でも理解が早いと思います。又具体例も豊富でこれから学ぼうとする人にもよい入門書だと思います。著者は富山大学電気工学科教授、加川幸雄先生で、音響分野の有限要素法の第一人者です。

以上、私の学生時代の経験を基に筆を進めました。が、学生諸君も貴重な学生時代を能動的に有意義に過ごし、思い出に残る様な本を見つけ出すことを期待します。

読書について

機械工学科 林 武 美

読書は私にとって、自分の人生から切り離すことのできないものである。と言うと何だか大げさな表現と思われるかもしれないが、つまり、書物は私の最良の師であり、友であり、また自分という人間がつくられてきた過程を書物の影響ぬきに考えることはできない。運命や出会った人々やその他諸々のものと同じく、書物も、良くも悪くも私という人間をつくってきた。学問上の書物とのかかわりは別にして、文学書や哲学書その他さまざまな本の影響を強く受けて私の感受性や人生観や思想が形成且つ変化させられてきた。

しばしば、読書について、生きていく上で別段なくてもよいと語る人々に出会う。「専門書・一般に知識技術のための書は必要かも知れないが、その他の書物は必ずしも不可欠のものではありません。実際私はそんなものはろくに読まずに、生活の中で学びながら成長しているつもりです。」

本を読まなくても自分の人生や触れ合う自然から学べるというのは間違っていないだろう。実人生の体験こそは、自己の変革をもたらす第一義的なものであろう。しかし、本はしばしば、それを読まなかったならば気づかなかったであろう新しい物の見方や考え方を教えてくれ、自分の小さな限られた経験の世界のみでは知ることができなかったであろう世界や人生の真実を提示してくれる。また、私たちが過去や現在の最高の知性や最良の魂に接することができるのも本であり、とくに過去のそれに対しては本を措いてない。私たちに汲み取る力さえあれば、本から無限に多くを得ることができるのである。

ただ、読書は望ましいが、多忙で時間が見出せないと言う人々もいる。私自身最近ではなかなか仕事関係以外の読書に時間を割けない。けれども、人生における何らかの切実な問題に直面して書物に解答や示唆を求めたり、あるいは自分の心への共感、また時に慰めや勇気や希望、これらのものを得ようとして書物に向うことは今後幾度となくあるだろう。書

物こそは、いつでも自分が訪れる時には迎えてくれる師・友であり、しかも、訪れた時の心やこちらが何を求めているかに応じて応えてくれるのである。

ところで、限りある時間の中で私たちが読書から真に自分に大切な何ものかを獲得できるためには、読書にあたっても山程ある書物の中から本物を見出さなければならない。本物を見出す力は、無論人間としての成長がそれを与えるであろうが、深い読書経験によっても与えられるであろう。が、いずれにせよ、その背後には人生における真摯さ、自他のために何かを求め、又は究める真摯さがなければならない。真の読書は何かを求めてなされるのだから。（単なる気晴らしや時間つぶしのための読書というものも勿論あるけれど。）

先日NHKテレビで、ある精神科医が癌におかされたことを自覚してのち死に至る迄の1000日間の記録をまとめた番組を見たが、彼は死が逃れられないことを知ってのち、生ある間になすべき使命の遂行に全力を尽しつつ、そのための残り時間の少なさを嘆きながら、死や人生などに関する200冊に及ぶ本を読むのである。医療や講演という最後の力をふりしぼっての自らの行動を通じてと同時に、彼は本の中にも「生と死」、「死と医療」に関する自らの切実な問いへの答えを必死に求めたのであろう。また時として心の平安をも求めたであろう。

漠然とした書物の選択において、しばしば「古典の名作を読め」とすすめられるのは、今日に残る古典が間違いなく本物だからである。だがすすめられて古典的名作の一冊を手にとり読んだところで、また仮に世界の名著・日本の名著100冊を次々に読むような偉業をなしとげたところで、真に何かが得られたか、少なくとも将来にそれが生きるか、ということ保証の限りではない。単なる「教養」というか、ただ読んだという満足感に終わるだけかも知れない。ある本を読んで、深く心をゆさぶられ、もしくは新しい何ものかを発見して感動する、という経験のみが、読書への真の欲求をもたらすだろう。

だから、「本を読め」という抽象的な読書一般へのすすめはさして有効ではないかも知れない。より有効なことは、本を読みたい人がいつでも読めるように条件を整えることであり、本に触れ易い（目に入ると言ってもよい）環境を与えることであり、かく

かくしかじかの具体的な書物について注意を喚起することではなかろうか。

小さい頃の本棚に（ここに並ぶ本は大人が買い与えてくれたものである）、父母や兄姉の書棚に、学校の図書館に、ひいては街の書店に、優れた本が並んでいるということは、どんなに大事なことであろう。だが、街の書店では、売れないためか世界の古典的純文学などは現代の流行本に押しのけられてしまっているように見える。私はそのことに愕然とするのだが、これはもう私が古い人間に属するということかも知れぬ。

だが、私は、私の読書歴をふり返ってみて、（それは長い間にさまざまに移り変わっていったが）ちょうどこれを読む学生諸君と同じ年代の（主として高校の）頃に、日本や外国の（実は圧倒的と言ってよいくらい外国の）近代文学に熱中し、たとえばツルゲーネフ、チェホフ、ドストエフスキー、ゲーテ、ヘッセ、ワイルド、ジイド、モーパッサン、アナトール・フランス、ボードレール、ランボー等を読みふけたことを思い起こす。青春の初期にこれらの作家・詩人達に傾倒又は耽溺したことは、私の初期の人間形成に大きな影響を与えたと思う。それは私のうちに貴重な精神的財産を残したと思っているし、多分私の感性や思考の良い一面を育てるに役立った。しかし、読書の影響は必ずしも単純なプラスばかりとは限らないから、たとえばロマンチズムやセンチメンタリズムといった要素を過度に育てたり、更に、現実よりも想像や「頭の中」でつくりあげたものにとらわれる傾向を育てたといったようなマイナスをもたらしたかも知れない。

しかし、いずれにしても、この時の読書も、その後の異なった書物の読書とともに、自分という人間をつくってきたのだと痛感するのである。



○ 昭和57年度図書利用統計

開室日数：239日

閲覧人員

学 生	教 官	事務系職員	計
46,332	813	793	47,938

貸出人員・冊数

学生（人員）

学科 学年	機 械 工学科	電 気 工学科	土 木 工学科	建 築 学 科	計
1	295	364	244	315	1,218
2	311	213	190	237	951
3	230	356	196	214	996
4	397	437	212	229	1,275
5	413	306	159	170	1,048
計	1,646	1,676	1,001	1,165	5,488

学生（冊数）

学科 学年	機 械 工学科	電 気 工学科	土 木 工学科	建 築 学 科	計
1	330	440	290	390	1,450
2	365	220	196	271	1,052
3	252	449	217	249	1,167
4	541	622	257	256	1,676
5	572	372	175	192	1,311
計	2,060	2,103	1,135	1,358	6,656

昨年度の図書利用状況は以上のとおりです。
別に、各クラス、各学科を比較して、対抗意識を

あおるなどといった意図はありませんが、まあ、このような分析ができるでしょうか。

まず、開室日数が239日で、閲覧学生数が46,332名ですから、1日約194名の閲覧者があったことになります。全学生757名の約4分の1が毎日入室している勘定になりましょう。

次に、貸出人員、冊数をみてみますと、全体的には、4年が最も多く、ついで1年、5年の順となり、どうも2～3年の貸出状況は低いようです。もちろん、毎年の各学年の読書レベルには違いがありますから、厳密には断言できないかもしれませんが、2～3年の中ダルミがこの統計表にも表われていると思われまます。

なお、学科単位でみますと、M・E科は、2～3年に落ち込みがあるものの、大体学年が上がるに従い、貸出も多くなり、それに対し、C・A科は、大体学年を追うごとに少なくなる傾向にあります。なお、又、M・E科に比して、C・A科は全体量が少なく、もっと貸出量をふやしてほしいと思います。

最後に、全貸出冊数6,656冊を757名で除してみますと、約8.8冊になります。1年間の貸出冊数として、平均8.8冊は、ちょっと寂しい。平均20冊、在学5年間で100冊は、じっくりと読んでほしいと思います。

編集後記

図書だよりは、学生諸君にもっと図書室を利用して欲しい、本を読んでもらいたいとの意向で刊行されましたが、本号で第9号になります。

最近では、宿題やレポートのために図書室へ来て本を借りる人が多いようですが、文学書等も今度来室した時、手に取ってみて下さい。読書にも流行があるようで、それに追いつくよう購入図書を選んでいますが、どうしても十分な事はできないようです。諸君の読みたい本で図書館にないものがあれば、どしどし投書箱を活用して下さい。また読書で感銘した事、ひとにも推めたい本等ありましたら是非図書だよりに投稿して下さい。

おわりに、本号表紙の写真は機械工学科の糸島寛典先生に撮って頂きました。すてきな写真をどうもありがとうございました。この場をかりてお礼申し上げます。

(山崎 記)



新着図書案内

> 0 総 記 <

- 朝日年鑑 1983年版 朝日新聞社
 中国年鑑 1983年版 中国新聞社
 図書館用語辞典(図書館問題研究会 編) 角 川
 日本書誌学用語辞典 (川瀬 一馬) 雄 松 堂
 日本書誌の書誌 (天野敬太郎) 巖 南 堂
 総載編～昭和40年末現在～
 主題編1～昭和45年末現在～
 日本学術資料総目録 1983年度版 a l m i c
 日本 の 名著 中 央 公 論 社
 45:宮崎滔天・北 一輝
 NHK海外シリーズ図書 日本放送出版協会
 素顔のスイス
 ウィーンの東
 東ヨーロッパ
 飢えるアフリカ
 岩波クラシックス 岩 波
 11:菜根譚
 12:この人を見よ
 13:論 語
 14:オイディプス王(ソポクレス)
 15:人生の短さについて
 16:百人一首一話 上
 17: " 下
 18:日本唱歌集
 19:新約聖書 福音書
 20:ルバイヤート
 21:福翁自伝
 22:東海道中膝栗毛 上
 23: " 下
 24:ギリシャ・ローマ神話
 25:三酔人経綸問答
 26:日本童謡集
 27:読書について
 28:蘭学事始
 29:死に至る病
 30:白秋詩抄
 朝日選書 朝日新聞社
 194:危機の科学
 202:チベット放浪
 206:科学と技術の近代
 208:沖縄の戦記
 209:海の城
 211:アジアはなぜ貧しいのか
 212:父の戦記
 213:学校教科書

- 214:芸話おもちゃ箱
 215:京都往来
 216:歴史紀行 死の風景
 217:私にとって科学とは何か
 218:子どもが<少国民>といわれたころ
 219:山と木と日本人
 220:軍拡の不経済学
 221:アフリカふたつの革命
 222:道思想史 人文篇
 224:教育の流れを変えよう
 225:現代のイスラム
 226:新イタリア事情 上
 227: " 下
 228:鲁迅と日本人
 研究と独創性(学術月報編集委員会 編) 日本学術振興会
 書かれる立場書く立場 (読売新聞社) 読 売 新 聞 社
 着 眼 力 (伊吹 卓) P H P 研 究 所
 コンピューター社会学 (原 涼二郎) 朝 日 新 聞 社
 BASIC入門 (W.N.ヒュービン) 現 代 数 学 社
 基本BASICとその応用(戸川 隼人) サイエンス社
 マイコンプログラミング自由自在
 (矢田 光治) 誠 文 堂
 第2種情報処理技術者試験予想問題集
 (情報処理技術試験所研究委員会 編) 産業能率大学
 第2種情報処理受験読本 第2版
 (オーム社 編) オ ー ム 社
 マイコンによる知的生産の技術
 (脇 英世) 講 談 社
 NEC PC-6001 プログラミング教本 廣 済 堂 出 版
 これからのBASIC活用法
 (猪飼 國夫) C Q 出 版
 マイコンコンピュータの内部構造と機械語
 (福永 邦雄) "
 最新マイコンBASIC規格表 '82 "

> 1. 哲 学 <

- 希望の原理1～3(エルンスト・ブロッホ) 白 水 社
 ハイデッガー選集 理 想 社
 29:心理学主義の判断論
 ニーチェ物語 (渡辺, 西尾 編) 有 斐 閣
 人間探求の心理学 (牧 康夫) アカデミア出版会
 ウィトゲンシュタイン全集 大 修 館
 1:論理哲学論考
 2:哲学的考察
 3:哲学的文法 1
 4: " 2
 5:ウィトゲンシュタインとウィーン学団
 6:青色本・茶色本
 7:数学の基礎

8: 哲学探究
 9: 確実性の問題・断片
 10: 講義集
 脳と認識 (伊藤正男 編) 平凡社
 フロイト著作集 人文書院
 1: 精神分析入門 正, 続
 2: 夢 判断
 3: 文化・芸術論
 4: 日常生活の精神病理学
 5: 性欲論症例研究
 6: 自我論・不安本能論
 7: ヒステリー研究
 8: 書簡集
 フロイトを読む (ポール・リクール) 新曜社
 古寺巡礼東国 淡文社
 4: 円覚寺
 5: 永平寺
 キリスト者の信仰 (矢内原忠雄) 岩波
 1: キリスト教入門
 2: 無教会主義キリスト教論
 3: マルクス主義とキリスト教
 4: 国家の理想
 5: 民族と平和
 6: 現代社会とキリスト教
 7: 信仰と人生
 8: 余の尊敬する人物 正, 続
 図書館活用学 (森崎, 戸田) 新日本新書
 青春を生きるお前に (スホームリンスキー) 新読書社
 物語・中国の名言 (森友 幸照) ダイアモンド社
 メソポタミアの神話 (矢島 文夫) 筑摩
 人づきあいの心理学 (安本 美典) P H P 研究所

> 2 歴 史 <

全訳世界の歴史教科書シリーズ 帝国書院
 24: アメリカ 1
 25: " 2
 26: メキシコ
 27: イスラエル 1
 28: " 2
 29: 中 国 1
 30: " 2
 31: 韓 国
 32: インドネシア
 33: ナイジェリア
 世界現代史 山川出版社
 16: アフリカ現代史 4
 21: ベネルクス現代史
 ものと人間の文化史 法政大学出版局
 45: 壁

昭和史 (金原, 竹前) 有斐閣
 国史大辞典 (国史大辞典編集委員会 編) 吉川弘文館
 地域の地理学 (山崎謹哉 編) 古今書院
 日本地誌要説 (" 等) "
 世界の沿革誌 (川崎 敏) "
 歴史がつくった景観 (浅香勝輔 等) "
 山への旅 (牧野 文子) アディン書房
 角川日本地名大辞典 角 川
 24: 三重県
 31: 鳥取県
 46: 鹿児島県
 旅立ちの記 上, 下 (本多 勝一) 講談社
 ナチス・ドキュメント (ワルター・ホーファー) ペリカン社
 ハイデルベルク (生松 敬三) TBSブリタニカ
 ドイツ農民戦争 (M. ベンジンク) 未来社
 ベルリン日記 (ウィリアム・シャイラー) 筑摩
 日本へ二百年の変貌 (M.B. ジャンセン) 岩波
 浅野文庫蔵諸国古城之図 (矢守一彦 編) 新人物往来社
 浅野文庫蔵諸国当城之図 (原田, 矢守 編) "
 歴史の町なみ (保存修景計画研究会) 日本放送出版協会
 近畿篇, 京都篇, 関東・中部・北陸篇, 北海道・東北篇
 日本文化の形成 (宮本 常一) そしえて
 遺稿, 講義1, 講義2
 江田島町史 改訂 (江田島町 編) 江田島町
 広島県大百科事典 上, 下 中国新聞社
 ヨーロッパの都市と生活 (増田 四郎) 筑摩
 土方歳三の最期 (加瀬谷 直) 中央公論事業出版
 ヘディン 人と旅 (金子 民雄) 白水社
 毛利元就伝 (小都 勇二) 吉田郷土史調査会
 中央アジアの探険 上
 (プルジェクルスキー) 白水社
 チベットの都ラサ案内 (金子 英一) 平河出版社
 総史沖縄戦 (大田 昌秀) 岩波
 忠臣蔵の世界 (諏訪 春雄) 大和書房
 新しいヨーロッパ像の試み
 (G. パラクローウ 編) 刀水書房
 アトラス現代世界 (野村正七 編) 昭文社
 現代地理学の基礎 増補版 (木村辰男 編) 大明堂
 戦争はなぜ起こるか (A.J.P. テイラー) 新評論
 天皇陛下の会話集 (松崎 敏弥) ごま書房
 坂本龍馬に学ぶ (童門 冬二) 新人物往来社
 一房の葡萄 (玉木 重輝) 読売新聞社
 原爆の碑 (黒川万千代) 新日本出版社
 エベレストを越えて (植村 直己) 文芸春秋
 かりふおるにあ通信 (ドウス昌代) "
 ヨーロッパへの偏見 (金崎 肇) 古今書院
 アイラブ ニューヨーク (黒田 英雄) 東洋経済
 親と子のネパール探険 (田村真知子) コンパニオン出版
 ヒマラヤ・トレッキング
 (ブルー・ガイドブックス 編) 実業之日本社

- 半過去の建築から (木島 安史) 鹿 島 出 版 会
 建物はどうに働いているか (レドワード・アレン) "
 進化する都市 (バトリック・ゲデス) "
 アメリカでの暮らし方 (中野英子) 日本交通公社出版
 アメリカ留学ガイド (栄 陽子) "
 ハンザ同盟 (高橋 理) 教 育 社
 19世紀のヨーロッパ (野田 宣雄) 有 斐 閣
 20世紀のヨーロッパ (") "
 各駅停車 河 出 書 房 新 社
 9：茨城県
 12：埼玉県
 13：東京都 上, 下
 20：山梨県
 24：愛知県
 43：長崎県
- > 3 社会科学 <
- 経済原論 (宮本義男 編) 有 斐 閣
 新民法講義 3：不動産法 "
 土地問題双書 "
 1：土地所有権の制限・日照権
 2：転機に立った土地収用・交通公害
 3：都市計画法・固定資産税制の再検討
 4：国土空間の適正配分・不動産鑑定制度
 5：住宅政策・防災と法理論
 6：近代的土地所有権・入浜権
 8：地代家賃制度・土地税制
 9：土地所有権の比較法的研究
 10：不動産金融・水資源と法
 11：都市再開発・不動産取引と法
 12：不動産登記制度・建築確認制度
 13：集合住宅の管理・高層建築
 14：公害の原状回復・宅地開発と農業
- 現代のドイツ (大西健夫 編) 三 修 社
 1：国土と国民
 2：政治と行政
 3：経済とその安定
 6：大学と研究
 7：社会保障
 8：職場と社会生活
 10：文化と伝統
- 非行シリーズ 民 衆 社
 1：非 行
 2：非行克服と専門機関
 3：非行克服と学校教育
 4：非行克服と家庭教育
 5：非行 続
- 日本社会の構造 (福武 直) 東京大学出版会
 日本女性史 (女性史総合研究会編) "
- 2：中 世
 4：近 代
 5：現 代
 現代法学全集 筑 摩
 18-1：債権総論 上
 47：国際私法
 日英故事ことわざ辞典 (常名鍾二郎) 朝日イブニングニュース社
 ヤーパンの評判 (ゲプハルト・ヒールシャー) "
 立地の理論 上, 下 (春日 茂男) 大 明 堂
 性的非行 (千田 夏光) 汐 文 社
 暴力非行 (") "
 マルクス主義と現代 (P・スウィージー) 岩 波
 図説日本の文化をさぐる 小 峰 書 店
 2：民家のなりたち
 現代日本人の法意識 (日本文化会議 編) 第 一 法 規
 社会主義のドイツ (日本ドイツ民主共和国友好協会 編) 大 月 書 店
 近代日本の居住習俗 (鈴木 鴻人) 工 業 出 版
 日本統計年鑑 第32回 (昭和57年) (総理府統計局 編) 日本統計協会
 現代法律学全集 青 林 書 院 新 社
 8：債権総論 改訂版
 ザ・ジャパニーズ・カンパニー (ロドニー・クラーク) ダイアモンド社
 東欧新事情 (ルートヴィーク・ストラシェヴィチ) 三 省 堂
 町工場のロボット革命 (森 清) ダイアモンド社
 世界技術戦争最前線 (角間 隆) グリーンアロー・ブックス
 英文経済コラムを読みとる (ミルトン・フリードマン・ポール, A・サミュエルソン) グロビュー社
 お母さん、ぼくが生まれてごめんなさい (向野 幾世) サンケイ出版
 日本は没落するか (小林 良彰) リーテック社
 ことわざ雑学辞典 (ことわざ編集室 編) 寿 海 出 版
 ロボット時代の現場 (鎌田 慧) 三 一 書 房
 アメリカ病 (ミシェル・クロジェ) 読 売 新 聞 社
 小田実の反戦読本 (小田 実) 第 三 書 館
 怒りをこめて起ちあがれ (勝部 元) マル ジュ 社
 核 戦 争 (グラウンド・ゼロ) サイマル出版会
 死刑物語 (カールB・レーダー) 原 書 房
 OA読本 (キャノンOA推進室 編) 有 斐 閣
 家出の心理 (市岡, 柴田, 松元, 小林) "
 住まいの文化 (中村 圭介) 新 日 本 出 版 社
 集合住宅 上, 下 (集合住宅研究会 編) "
- > 4 自然科学 <
- 転位論入門 (鈴木 秀次) ア グ ネ
 物理学講義と解説 1, 2 (鈴木 保正) "

パークレー物理学演習 (M・チェン) 培風館	PSNS教養の物理科学 (PSNS Project Staff 編) 東京化学同人
科学・技術者のための英文ポリッシュアップ (R・ブランド) 〃	やさしい線型代数 (H・アントン) 現代数学社
演習物理学 上,下 (若桑 光雄) 〃	工科系のための微分・積分 (大橋 三郎) 実教出版
理科I精義 (吉本 市 等) 〃	工科系のための微分積分学 (平野, 田中) 裳華房
疾病と地域・季節 (榎山 政子) 大明堂	大学演習物理学コンパニオン (原島 鮮) 学術図書出版社
応用地形学 (西村嘉励 編) 〃	身近な力学 (リシエフスキー) 東京図書
世界の自然環境 (山本正三 等) 〃	太陽の謎 (桜井 邦朋) ダイアモンド社
数学ライブラリー (教養篇) 森北出版	化学の話シリーズ 培風館
1: 数学入門	1: 元素の話 (斎藤 一夫)
2: 石とりゲームの数理	2: 金属の話 (井口 洋夫)
3: 現代数学と初等数学	原子からクオークへ (J・S・トレフィル) 〃
6: 宇宙航行の数学	やさしい微積分 (梅沢 敏夫) 〃
7: 確率と統計	やさしい線形代数 (〃) 〃
9: 創造性と数学	やさしい微分積分 (〃) 〃
連続体力学 (E・ベッカー) 〃	おもしろい天文学 (ペレリマン) 東京図書
日本列島〜その形成に至るまで〜2 上,下 (木村 敏雄) 古今書院	続おもしろい天文学 (〃) 〃
図説 環境地理 (福岡 義隆) 〃	おもしろい分子生物学 (グリゴリーエフ・マルハンヨーフ) 〃
地図を追って (籠瀬 良明) 〃	身近なからだの生化学 (アンドレーエヴァ) 〃
ベクトルと行列 (北村泰一 編) 槇書店	やさしい微積分 (ポントリャーギン) 〃
極限と微分・積分 (〃) 〃	おもしろい免疫学 (ペトロフ) 〃
集合・確率・論理 (平岡 忠 編) 〃	アレルギーの生理学 (ア ド) 〃
図説人体の病理 (田中 昇等) 新思潮社	おもしろい生物の超能力 (セルゲーエフ) 〃
図説人体生理学 上,下 (伊藤 錠夫) 〃	創元クリニックシリーズ 創元社
図説生理学の基礎 (川嶋 昭司) 〃	1: 血液とからだ (三輪 史郎)
物理と化学のための数学 1, 2 (H・マージナウ) 共立出版	2: 耳・鼻・のどの病気 (石井 哲夫)
詳解物理・応用数学演習 (後藤憲一 編) 〃	3: 肝臓病の予防と治療 (奥村 英正)
物理実験法 (関根幸四郎) コロナ社	4: 目の健康 (丸尾 敏夫)
電磁気学演習ノート 続 (藤田, 佐々木) 〃	5: 心身症のはなし (河野 友信)
理工学基礎講座 朝倉	6: 胃炎と胃・十二指腸潰瘍 (松尾 裕)
6: 計算機と数値解析	ブラックホール物理学 (今枝国之助) 講談社
電子現象 (相川 孝作) 〃	生命とはなにか (木原 弘二) 〃
大学の化学100問100答 (岡崎 雄交) 広川書店	物理学One Point 共立出版
ライフサイエンス物理学 (Joseph W. Kane) 〃	1: エントロピー (小出昭一郎)
微分積分学 (松尾吉知 等) 昭晃堂	2: 電場・磁場 (青野 修)
FORTTRANによる計算技術 (永坂 秀子) 〃	3: 質 量 (瀬川 洋)
科学技術英語の書き方 (松本 安弘) 北星堂	4: 電流と回路 (久村 富持)
環境と人間の科学 三省堂	5: 力・作用力・反作用力 (大槻 義彦)
4: 日本の水	6: 温度と熱 (松平 升)
基礎からよくわかる理科I (竹内 均 等) 旺文社	7: フックの法則 (宮原 将平)
電磁気学の基礎 (P・ハモンド) 東京電機大学出版局	8: 単位と単位系 (高田 誠二)
生理学要説 (長田 泰公) 光生館	9: 表面張力 (小野 周)
医学歯学のための物理実験 (鮎川武二 等) 集文社	10: EとH, DとB (広瀬 立成)
健康のための医学百科 (健康のための医学百科編集部 編) 平凡社	11: 干渉および干渉性 (飼沼 芳郎)
化学計算の解釈研究 (島原, 水林) 三共出版	12: 相対性原理の視点 (大槻 義彦)
	13: マイコン物理 (三島 信彦)

14：屈折率 (山口 重雄)	出入口・窓 (鹿島建設・建築設計本部 編)	
15：物理と微積分 (小出昭一郎)	S D選書 鹿島出版会	
16：次元と次元解析 (青野 修)	174：建築の多様性と対立性	
17：乱流 (佐藤 浩)	175：広場の造形	
18：不確定性原理 (並木美喜雄)	176：西洋建築様式史 上	
19：放射の物理 (和田 正信)	開発と水文環境アセスメント技法 (高見 寛)	"
20：物理が好きになる本 (勝木 渥)	現代の建築家：安藤忠雄(SD編集部 編)	"
21：仕事関数 (塚田 捷)	海中構造物腐食の実態と対策 (善 一章)	"
宇宙百景 (宮本正太郎) 東京大学出版会	標準機械工学例題演習シリーズ コロナ社	
現代を知る科学常識300 (牧野 萬) ごま書房	8：伝熱工学例題演習	
解説化学計算の基礎 (藤掛, 森, 鈴木) 東京電機大学出版局	標準機械工学講座	"
自然界びっくりサイエンス (春田 俊郎) 実日新書	13：伝熱論	
七つの大地震 (守屋喜久夫) 新潮選書	ひずみゲージ入門 (玄 忠)	"
海のUFOクラゲ (広崎 芳次) バンダイ出版	空気機械工学便覧 新版	"
生命 (朝日新聞科学部) 朝日新聞社	基礎編, 応用編 (空気機械工学便覧編集委員会 編)	
まじめなオチンチンの話 (矢島 暎夫) 冬樹社	新編機械工学講座	"
新しい宇宙観 (R・M・ウォルド) 秀潤社	22：蒸気原動機	
結婚症候群 (桂 戴作) PHP研究所	ジェットエンジン理論 (ベ, エス, スターチキン 編)	"
＜ 5 工 学 ＞		
自動制御基礎講座：サーボ機構 オーム社	標準土木工学例題演習シリーズ	"
エネルギー工学のためのエクセルギー入門 (信澤 寅男)	5：応用水理学例題演習	
冷凍標準テキスト (清水雅夫等)	シミュレーション技術	"
材料学の最近の進歩 (日本材料学会 編)	3：有限要素法	
住宅設計ハンドブック (清家 清 編)	精密工学講座	"
アモルファス金属の基礎 (増本 健 編)	2：精密機械用材料	
ハンディブック建築 (岸田林太郎 等)	現代自動制御双書	"
大学課程 水理学 (粟津 清蔵)	1：不規則信号論と動特性推定	
OHM電気電子用語事典 (茂木 晃 編)	新体系土木工学 技報堂	
エネルギー工学のための伝熱工学の基礎 (塩冶震太郎)	9：構造物の座屈・安定解析	
マイクロコンピュータの計測と制御への応用 (D・M・アウスランダー)	31：コンクリートの製造と施工	
社会福祉への建築計画 (栗原嘉一郎 等)	32：鉄筋コンクリートの力学	
図解熱エネルギー工学入門 (沼野 正博)	Practical Drawing Method	"
だれにもわかる日影規制とその対策 (武井 正昭)	1：建築図面の表現	
通信ネットワーク概論 (清水 通隆)	2：住宅の設計と詳細 木造編	
現代材料力学演習 1, 2 (平 修二 編)	3： " RC造編	
大学課程 電気材料 (平井平八郎 等)	建築物の遮音性能基準と設計指針 (日本建築学会 編)	"
照明ハンドブック (照明学会 編)	実務的騒音対策指針 (")	"
現代ディジタル通信方式 (宮川, 小泉)	機械工学標準問題と解説 (服部 敏夫)	"
ディテール 鹿島出版会	圧延による加工 (F・フィッシャー)	"
事務所建築 新版 (鹿島建設・建築設計本部 編)	騒音・振動対策ハンドブック (日本音響材料協会 編)	"
建築の仕上 改訂版 (")	電気・電子学生のための情報工学実験 (伊藤 誠) 丸 善	
	溶接工学の基礎 (溶接学会 編)	"
	基礎伝熱工学 (W・H・ギート)	"

電気・通信・電気工学基礎講座	丸	善	実験機械工学	(浅川 勇吉)	現代工学社
11: エネルギー変換工学基礎論			精解機構学の基礎	(佃 勉)	"
マイクロコンピュータシリーズ	"		理論切削工学	(小野浩二 等)	"
12: 16ビットマイクロプロセッサ			有限要素法ハンドブック(鷺津久一郎 等)	培風館	
標準水理学	(本間 仁)	"	1: 基礎編		
建築設計資料集成		"	2: 応用編		
5: 単位空間 3			工学基礎材料科学	(坂田 亮)	"
建築と環境の音響設計			境界要素法の基礎	(神谷 紀生)	"
(Leslie L. Doelle)	"		工学基礎講座		"
水理学 続 ～技術者のための流体の力学～			11: 制御工学		
(本間 林)	"		機械工学講座		共立出版
技術英文のすべて	(平野 進 編)	"	1: 材料力学		
金属材料の強度と破壊(日本金属学会 編)	"		21: ガスタービンおよびジェットエンジン		
建築の空間			最新工業計測	(佐藤 泰彦)	"
(コルネリス・ファン・デ・フェン)	"		静定構造力学	(高岡 宣善)	"
技術科学英語	(青柳 忠克)	産 業 図 書	詳解制御工学演習	(明石 一)	"
工業英語演習	(下坂 篠田)	"	熱および熱機関	(泉亮太郎 等)	"
工業英語ハンドブック	(秋山守雄 等)	"	DA建築図集	(日本建築家協会 編)	彰 国 社
機械設計演習 増補版	(岩浪繁蔵 編)	"	美術館 1, 2		
冷凍工学演習	(大西 復治)	"	低層集合住宅 1		
電気工学大意	(石黒 美種)	"	住 宅 1, 2		
地盤力学の有限要素解析 1, 2			体育館		
(G. グーデフス 編)	森 北 出 版		建築のDESIGN + DETAIL		
最新機械工学シリーズ	"		(日本建築家協会 編)	"	
14: 材料力学 1			木 造 1		
15: " 2			鉄筋コンクリート造 1		
回転体の力学	(R. ガッシュ)	"	建築設計演習 基礎編		"
建築環境科学ハンドブック			建築デザインの製図法から簡単な設計まで		
(S. V. ショコレー)	"		建築の省エネルギー計画		
朝倉機械工学全書	朝 倉		(日本建築学会 編)	"	
8: 機構学			デザイナーのための木構造(杉山 英男)	"	
19: ガスタービン			マニエリスムと近代建築～コーリン・ロウ建築論選集		
衛生工学ハンドブック	"		(コーリン, ロウ)		
騒音・振動編	(庄司 光 編)		設計計画シリーズ		井 上 書 院
エンジニアのための計測技術			歴史民俗資料館		
(J. P. Holman)	"		市庁舎・町役場		
流体工学	(古屋善正 等)	"	幼稚園・保育所		
コンクリート工学ハンドブック			研 修 所		
(岡田 清 等)	"		ショッピングモール		
電気工学基礎論	(仁平幸治 等)	"	信用金庫		
電波工学入門	(松本 欣二)	"	図集建物のおさまり 入門編 1, 2		
熱機関工学	(西脇仁一 編)	"	(中善次登喜次)	井 上 書 院	
建築設計講座		理 工 図 書	ユース・ホステル建築	(吉江 憲吉)	"
都市住宅地の設計 技法編			集合住宅	(増沢, 大庭)	"
住居の設計			洋風住宅設計図集	(増沢 洵)	"
住まいの実例	(加納敬二郎)	"	固体力学の基礎	(日本材料学会 編)	日刊工業新聞社
これからの住まい	(中田清兵衛)	"	自動機械機構学	(牧野 洋)	"
電気材料	(難波, 金子)	"	マイコンによる機械制御技術		
実用水工学とその計算例	(柴田 道生)	現代理工学出版	(杉田 稔)	"	
			機械設計便覧	(木内 石)	"

- 機械技術者のためのマイコンエンジニアリング
(河合 勝司) "
- 燃焼機器工学 (辻 正一) 日 刊 工 業
- 精密測定技術 (中野 幸久) "
- 現代建築家シリーズ グラフィック社
チャールズ・ムーア
シーザー・ペリ
ハーディ、ホルツマン、ファイファー
- 建築パース集成
(グラフィック社編集部 編) "
- 建築プレゼンテーション・テクニック
(W. W. アトキン) "
- 現代建築家ドローイング集成
(グラフィック社編集部 編) "
- アルヴァ・アアルト作品集 1, 2, 3
(E. アアルト, K. フライク 編) A. D. A. EDITA Tokyo
ケヴィン・ローチ/ジョン・ディンケル作品集
(ケヴィン ローチ) "
- ジェームズ・スターリング作品集
(ジェームズ・スターリング) "
- ルイス・カーン (カーン, ルイス I.) "
- 基本建築構造 学芸出版社
1: 木構造編
- 都市デザイン～理論と方法～
(都市デザイン研究会) "
- 建築設備の設計法 (大庭 孝雄) "
- BASICによる建築構造計算
(京都大学金多研究室) "
- 最新透視図技法 (高橋 靖夫) 相 模 書 房
入門編, 図法編, 着色編
- エンタルピー・エントロピーの基礎
(松永 省吾) パ ワ ー 社
- 熱力学 (兵働 務) "
- 世界のディテール 集 文 社
スチール階段, 階段, 金属製戸・門扉
- キャピテーション (加藤 洋治) 横 書 店
- 工業熱力学演習 (北條 勝彦) "
- おさまり詳細図集 1, 2, 3
(筋野 三郎) 理 工 学 社
- 住 居 (松浦 邦男) "
- 機械工学英語 (加藤ライジ) 工 学 図 書
- マイコン+センサ活用入門 (西野 聡) "
- デジタル制御の基礎と応用
(山田 博) "
- 電気学会大学講座 電 気 学 会
電気機器工学 1, 2
- 制御基礎講座 松下電器産業KK
1: プログラム学習によるリレーシーケンス制御
2: プログラム学習による無接点シーケンス制御
3: プログラム学習による電子制御
- 工学における数学的方法 上, 下
(T. V. カルマン) 法政大学出版局
- 不規則信号論 上, 下 (Y. W. リー) 東京大学出版会
- 新しい公差概念による製図マニュアル精度編
(製図マニュアル精度編編集委員会 編) 日本規格協会
- J I S工業用語大辞典 (日本規格協会 編) "
- 工業塑性力学 (益田 森治) 養 賢 堂
- 工学と技術の本質 (棚沢 泰) "
- 知りたいマシニングセンタ
(東芝機械マシニングセンタ研究会) ジャパンマシニスト社
- 知りたいフルイディスク
(東京航空計器研究開発グループ) "
- 新建築詳細図集 新 建 築 社
文化センター・会館編 (新建築社 編)
- 現代ホテルの計画 (越山 欽平) "
- 最新機械工学演習集成 学 献 社
8: 熱機関演習
- 電子素子工学 (中村新太郎) 実 教 出 版
- 街や村で見る鋳物 (木下 禾大) 新日本鑄造協会
- 燃焼の空気力学 (J. M. ベア) 省エネルギーセンター
- 実務家のための最新下水道ハンドブック 建設産業調査会
- 環境アセスメントマニュアル 環境技術研究会
- 学校建築計画と設計 (日本建築学会 編) 日本建築学会
- シリーズ新しい応用の数学 教 育 出 版
8: 初等関数の数値計算
- アビオニクス入門 (加藤 昭英) 日本航空技術協会
- デジタル信号処理 (宮川 洋 等) 電子通信学会
- 電気機器の入門 (磯部 直吉) 東京電機大学出版局
- 熱計算の手びき (川下 研介) 生産技術センター新社
- 技術・科学・歴史(D. S. L. カードウェル) 河出書房新社
- 住宅の外観 特選実例 260 集
(ニューハウス編集部 編) ニューハウス出版
- 現代の住宅 ツーバイフォー
(加納敬二郎) 工 業 調 査 会
- 木造住宅矩計図集 (建築思潮研究所 編) 建築資料研究社
- 建築へ向かう旅 (若山 滋) 冬 樹 社
- マイクロコンピュータ・ハードウェア基礎技術
(横井与次郎) ラジオ技術社
- 谷口吉郎作品集 (谷口 吉郎) 淡 交 社
- 自動車工学講座: 材料力学 明 現 社
- GA Houses ～世界の住宅～ 8-13
A. D. A. EDITA Tokyo
- 安全工学講座 海 文 堂
9: 騒音・振動 (安全工学協会 編)
- 画像処理論 (土井, 安藤) 昭 晃 堂
- 非鉄金属および合金 (濱住松二郎) 内田老鶴圃新社
- レーザ加工 (小林 昭) 開 発 社
- 土質工学ハンドブック (土質工学会 編) 土 質 工 学 会
- 制御装置の基礎 (平野 武) 成 山 堂
- 測量～古代から現代まで～ (武田 通治) 古 今 書 院

- 変圧器・非同期機 (竹上 武雄) 国民科学社
 CAD/CAM入門 (山口富士夫 編) 工業調査会
 美しい橋のデザインマニュアル (土木学会構造工学委員会 編) 土木学会
 電気工学必携 (穴原良司等) 三省堂
 宇宙プラズマ核融合 (河島 信樹) 工業調査会
 ロボット技術への挑戦 (木下源一郎) 〃
 航空機 (木村 秀政) 小学館
 カラーテレビの基礎 (平沢, 宮崎, 細田) ラジオ技術社
 電験第3種合格テキスト(電験合格研究会) 電気書院
 1: 理論8週間
 2: 発変・送配・法規9週間
 3: 機械応用8週間
 電験第2種合格テキスト(電験問題研究会) 〃
 7: 機器材料の9週間 2
 8: 電力応用の10週間 1
 9: 〃 2
 MOS・ICとFET (山崎, 大久保) 産報出版
 CMOSデバイスの徹底入門 (鈴木八十二) 〃
 デジタルICの使い方 (千葉 幸正) 〃
 はじめて学ぶICとIC回路 (桜井 千春) 技術評論社
 はじめてデジタルICを使う本 (奥沢 清吉) 誠文堂
 エリートビジネスマンロボット (宮崎 正弘) 山手書房
 原発はなぜこわいか (勝又, 天笠) 高校生文化研究会
 自習工業英語入門 (二反田鶴松) 共立出版
 注解付機械英語教本 (〃) 〃
 注解付工業英語教本 (〃) 〃
 都市計画図集 (日本都市計画学会 編) 技報堂
 工業英語 別冊 インタープレス
 1: 和英てにをは発想辞典 (岡地 栄)
 18: 取扱説明書作成マニュアル (岡地 栄)
 27: 初級工業英語読本 (井上 章)
 30: 辞書の知らない工業英語 (井上 章)
 31: 数式図形英語読本 (藤岡 啓介)
 34: 辞書にない用語用例 (金生 正道)
 45: 構文で学ぶ技術の英語 (井上 章)
 48: 初めて学ぶ工業英語 (〃)
 51: 初めて学ぶ英会話 (M.キーホー)
 54: 初めて学ぶビジネスレター (椎野 純男)
 56: 図解電気・電子英和事典 (工業英語 編)
 59: 技術討論のパターン (村川 享男)
 63: ブラッシュアップ工業英語 (井上 章)
 64: コンピュータ頻出要語活用辞典 (西川, 佐方, 杵淵)
 工業英語シリーズ (篠田 義明) 南雲堂
 1. 工業英語の正しい訳し方
 2. 工業英文説明書
 3. 工業英文作成のコツ
 4. テクニカル・イングリッシュ論理と展開
 工業技術英語の入門 (篠田 義明) 〃
 工業技術英語の基礎 (〃) 〃
 工業英語に強くなる本 (村上 喜一) 開発社
 高性能エンジンの研究 (館内 端) 山海堂
 レコード産業界 (河端 茂) 教育社新書
 機械工学S I マニュアル 日本機械学会
 J I S ハンドブック 鉄鋼 1982 日本規格協会
 ケイブックス
 28: スターリングエンジンの開発 (一色 尚次) 工業調査会
 土木工学のための
 プログラミングFORTRAN 培風館
 土木法規の基礎 (岸本, 天津) 工学出版
 安全計画I (安全計画の視点) 彰国社
 ディテール入門 〃
 建築家のためのコンピュータ入門 (G. ネイル・ハーバー) 〃
 日本建築学会設計計画(日本建築学会 編) 〃
 6: 台所の設計
 26: ハンディキャップ者配慮の設計手引
 木造の詳細 〃
 1: 構造編
 2: 仕上げ編
 3: 住宅設計編
 4: 建具・造作編
 図解鉄筋コンクリート造建築入門 (尾上 孝一) 井上書院
 建築家が説く住まいづくりのセオリー (松田 誠) 〃
 三階建住宅の研究 (田口 明) 工業出版
 建築設計実例集 (砂川幸雄編) 南洋堂
 図書館
 美術館, 博物館
 市町村庁舎
 クラブハウス
 市民会館
 初学者のための建築設計と製図法 (大塚 常雄) 理工学社

- 住まいの人間工学 (宇野 英隆) 鹿島出版会
 これだけは知っておきたい "
 建築の省エネルギーの知識 (成田勝彦 編)
 建物の断熱と結露防止の知識 (鹿島出版会 編)
 住宅建材の選び方と使い方 (高田秀三 編)
 シルバーシリーズ "
 近代建築ガイドブック (東京建築探偵団)
 建築美の世界 (井上 充夫)
 建築技術選書
 3: 建築とコンピューター 1 (魚木 晴夫)
 14: 設計のコンピューター手法 (飯塚 英雄)
 32: 建築塗装の手引き (児島 修二)
 33: 建築式典の実際 (若林嘉津雄)
 34: 建築設計と高齢者・身障者 (吉田 あこ)
 瀬戸内海環境研究 瀬戸内海環境保全研究所
- レタリング字典 (日向数夫 編) グラフィック社
 原色浮世絵大百科事典 大修館
 11: 歌舞伎・遊里・索引
 瞬間 (植村恒義 編) 共立出版
 ホログラフィー入門 (村田 和美) 朝倉
 カリガリからヒッターまで (S.クラカウアー) せりか書房
 美術の歴史 (H. W. ジャンソン) 創元社
 基本・レタリング入門 (柏原 博美) 日本文芸社
 オックスフォード美術解剖図説 (スティーブンR.ベック) 岩崎美術社
 絵本イラストレーション入門 (金 斗鉉) 新星出版社
 日本のジャズメン (岩浪 洋三) 大陸書房
 アメリカン・ジャズ・ガイド (") 白川書院
 かくてスターは生まれた (塩沢 茂) 日之出出版
 ハニホヘト音楽説法 (岩城 宏之) 新潮社
 カメラ紀行 みちのく慕情 (亀井千歩子) 彩流社
 暴れん坊の人間学 (張本 勲) 実日新書
 イワナの世界 (白石 勝彦) 講談社
 シルクロードの夢と現実 (李家 正文) 鹿島出版会
 これからの美術館 (長谷川 栄) "

> 6 産 業 <

- 気候変動と食糧 (高橋浩一郎 編) 大明堂
 世界の産物誌 (川崎 敏) 古今書院
 ランドスケープ・造園計画設計 (小林 治人) 理工図書
 マレーシアの旅 (名取 孝重) KKワールドフォトプレス
 入門貿易英語 (中村 弘) 東洋経済新報社

> 7 芸 術 <

- 日本古寺美術全集 集英社
 6: 西大寺と奈良の古寺
 8: 室生寺と南大和の古寺
 18: 北陸・信濃・東海の古寺
 世界の巨匠シリーズ 美術出版社
 VERMEER
 BECKMANN
 講座アニメーション "
 6: 新しいアニメーション
 紙による構成・デザイン (朝倉 直巳) "
 ザ・ヌード〜裸体芸術論〜 (ケネス・クーラク) "
 クロッキー技法 (西丸, 山内) "
 2: クロッキー3人のモデル
 造形の基本と実習 (真鍋 一男) "
 日本銅版画の研究〜近世〜 (菅野 陽) "

> 8 語 学 <

- 言語と民族の起源について (渡部 昇一) 大修館
 広漢和辞典上, 中, 下索引 (諸橋徹次 等) "
 オックスフォード・カラー英和大辞典8 福武書店
 国際語の歴史と思想 (二本 紘三) 毎日新聞社
 わかりやすい文章のために (本多 勝一) すずさわ書店
 教養としての言語学 (島岡 茂) 白水社
 慣用語の意味と用法 (宮地 裕 編) 明治書院
 岩波国語辞典 (西尾 実 編) 岩波
 新潮国語辞典〜現代語・古語〜 (山田俊雄 編) 新潮社
 古代文字解読の物語 (モーリスW. M. ポープ) "
 じょうずな話し方 (NHK 編) KKベストセラーズ
 しゃべれない人のホテルでの英語 (中村 裕) "
 ドイツ語がわかる100の単語 (福田 幸夫) 第三書房
 商社マンの書いた通じる英語 (守 誠) 実業之日本社
 たちまち話せるビジネス英会話 (貝瀬 千章) KKロングセラーズ
 英語で紹介するニッポン (トミー植松) ジャパンタイムズ
 新英語会話 (田崎 清忠) 日本放送出版協会

国際ビジネス英会話入門 (長野, 中村) 南 雲 堂
 国際電信英語のすべて (長野 格) 〃
 ビジネスマンの英語 (村松, 小松) サイマル出版会
 英字新聞の読み方 (本名 信行) 有 斐 閣
 英文仕様書読解作成の手引き

(松本 俊次) 日刊工業新聞社

HOW TO WRITE AN ENGLISH ESSAY

(P. メテヴェーレス) 早稲田大学出版部

映画と英語を一緒に (荒井 良雄) 日本英語教育協会
 現代人のための日本語の常識大百科

(池田弥三郎 編) 講 談 社

現代人のためのスピーチの常識大百科

(永井, 塩月; 鈴木) 〃

呉地方の方言事典 (高坂利雄 編) 文 正 堂 書 店

> 9 文 学 <

ヘッセ全集 (H. ヘッセ) 新 潮 社

4: 湖畔のアトリエ

山本周五郎全集 〃

1: 夜明けの辻・新潮記

カフカ全集 (F. カフカ) 〃

1: 変身, 流刑地にて

2: ある戦いの記録, シナの長城

3: 田舎の婚礼準備, 父への手紙

4: アメリカ

5: 審 判

6: 城

7: 日 記

8: ミレナへの手紙

9: 手 紙

10: フェリーツェへの手紙 1

11: 〃 2

12: オットラと家族への手紙

新潮現代文学 新 潮 社

1: 川端 康成

2: 井伏 鱒二

3: 中野 重治

4: 野上弥生子

5: 尾崎 一雄

6: 芹沢光治良

7: 宇野 千代

8: 石川 淳

9: 石坂洋次郎

10: 丹羽 文雄

11: 舟橋 聖一

12: 石川 達三

13: 伊藤 整

14: 高見 順

15: 中山 義秀

16: 永井 龍男

17: 山本周五郎

18: 佐多 稲子

19: 円地 文子

20: 太宰 治

21: 檀 一雄

22: 田宮 虎彦

23: 大岡 昇平

24: 武田 泰淳

25: 椎名 麟三

26: 梅崎 春生

27: 野間 宏

28: 井上 靖

29: 堀田 善衛

30: 中村真一郎

31: 福永 武彦

32: 三島由紀夫

33: 安部 公房

34: 幸田 文

35: 松本 清張

36: 島尾 敏雄

37: 小島 信夫

38: 安岡章太郎

39: 阿川 弘之

40: 庄野 潤三

41: 遠藤 周作

42: 吉行淳之介

43: 住井 すゑ

44: 新田 次郎

45: 水上 勉

46: 司馬遼太郎

47: 深沢 七郎

48: 井上 光晴

49: 北 杜夫

50: 山崎 豊子

51: 有吉佐和子

52: 曾野 綾子

53: 石原慎太郎

54: 開高 健

55: 大江健三郎

56: 城山 三郎

57: 三浦 哲郎

58: 山口 瞳

59: 瀬戸内晴美

60: 河野多恵子

61: 立原 正秋

62: 森 茉莉

63: 丸谷 才一

64: 辻 邦夫

65: 小川 国夫

66: 吉村 昭		ブエノスアイレス事件	
67: 星 新一		大英博物館が倒れる	
68: 田辺 聖子		シェイクスピア名言集(W.シェイクスピア) 大 修 館	
69: 倉橋由美子		野鳥と文学 (奥田夏子 等) "	
70: 高橋 和巳		茶川賛全集 1~12 文 芸 春 秋	
71: 柴田 翔		ことばを読む (井上ひさし) 中 央 公 論 社	
72: 五木 寛之		私のスイス (犬養 道子) "	
73: 野坂 昭如		シェイクスピア物語 (M.チュート) 旺 史 社	
74: 高井 有一		昼下がりの恋人達 (赤川 次郎) 光 風 社 出 版	
75: 田久保英夫		落ちこぼれの甲子園 (軍司 貞則) 講 談 社	
76: 加賀 乙彦		後楽園球場殺人事件 (新宮 正春) "	
77: 渡辺 淳一		国際結婚終着駅 (馬場 恭子) "	
78: 筒井 康隆		母と娘の刻印 (千田 夏光) "	
79: 井上ひさし		父 (ガヴィーノ・レッダ) 平 凡 社	
80: 古井 由吉		小説をどう読むか (保坂 清) 玉川大学出版部	
五木寛之小説全集	講 談 社	井上ひさしの世界 (井上ひさし) 白 水 社	
1: さらばモスクワ愚連隊		名作こぼればなし (巖谷 大四) 文 化 出 版 局	
2: 海を見ていたジョニー		楠木正成 (邦光 史郎) 真 樹 社	
3: 狼のブルース		新 選 組 (佐木 隆三) 文 藝 春 秋	
4: 青年は荒野をめざす		暗渠の連鎖 (森村 誠一) "	
5: 裸の町		真夜中のボクサー (高橋三千綱) 角 川	
6: 恋 歌		大和まほろばの記 (前川佐美雄) "	
7: 男だけの世界		この壮烈な戦士たち (南 雅也) 泰 流 社	
8: デラシネの旗		空母瑞鶴の生涯 (豊田 稔) 集 英 社	
9: こがね虫たちの夜		立ち止まっている男たち (吉川 良) "	
10: 朱鷺の墓 上		ベニスの商人 (シェクスピア) 日本放送出版協会	
11: " 下		第三次世界大戦 (フライアン・ハリス) 徳 間 書 房	
12: 内灘夫人		最後に笑った女 (デヴィッド・チャンドラー) 立 風 書 房	
13: 樹 水		千年の愉楽 (中上 健次) 河 出 書 房 新 社	
14: 暗いはしけ		アメリカ・ランニング・アラウンド	
15: にっぽん三銃士 上		(吉開那津子) 新 日 本 出 版 社	
16: " 下		国際浪人ブッタギナモー (若宮 清) 潮 出 版 社	
17: 青春の門 筑豊篇		素晴らしい歳月 (クンシェ・ライナー) 晶 文 社	
18: " 自立篇		ゲイトウエイ 2 (ポール・フレデリック) 早 川 書 店	
19: " 放浪篇		艶なる宴 (中村真一郎) 福 武 書 店	
20: 青春の門 墮落篇		戦争ノート (加賀 乙彦) 潮 出 版 社	
21: " 望郷篇		イタリア遺聞 (塩野 七生) 新 潮 社	
22: " 再起篇		ふらんす怪談 (H.トロワイヤ) 青 銅 社	
23: 奇妙な果実		マイ・ミステリー (小鷹 信光) 読 売 新 聞 社	
茶川龍之介全集 5~12	岩 波	海軍日記 (野口富士男) 文 藝 春 秋	
完訳 日本の古典	小 学 館	D. H. ロレンス名作集 (鏡味、野口) 文 化 書 房	
2: 萬葉集 1		続 ああ野麦峠 (山本 茂実) 角 川	
9: 古今和歌集			
10: 竹取物語・伊勢物語・土佐日記			
14: 源氏物語 1			
52: 日本永代蔵			
白水社 世界の文学	白 水 社		
交換教授			
大 脱 出			



岩波新書

- 211：発達心理学 (藤永 保)
 212：作物改良に挑む (山口 彦之)
 213：J・S・バッハ (辻 莊一)
 214：一路白頭二到ル (高瀬 善夫)
 215：外国人とのコミュニケーション
 (ネウストプニー)
 216：歴史的環境 (木原 啓吉)
 217：教育とは何かを問いつづけて
 (大田 堯)
 218：徳政令 (笠松 宏至)
 219：嫌煙権を考える (伊佐山芳郎)
 220：骨から見た日本人のルーツ
 (鈴木 尚)
 221：海と乱開発 (田尻 宗昭)
 222：死の思索 (松浪信三郎)
 223：科学文明に未来はあるか

(野坂昭如 編)

- 224：学力とは何か (中内 敏夫)
 225：ペスト大流行 (村上陽一郎)
 226：第三 折々のうた (岡田 信)
 227：頭痛 (高須 俊明)
 228：エッフェル塔ものがたり
 (倉田 保雄)
 229：新・核戦争略批判 (豊田 利幸)
 230：母乳 (山本高治郎)
 231：木簡が語る日本の古代
 (東野 治之)

岩波ジュニア新書

- 56：聖書物語 (山形 孝夫)
 57：コンピュータの話 (有澤 誠)
 58：中学生時代 (林 友三郎)
 59：未知の国すばらしい人たち
 (田沼 武能)
 60：メイド イン 東南アジア
 (塩沢美代子)
 61：化学をつかむ (細矢 治夫)

カラーブックス

- 586：日本の私鉄 ㊹名古屋市営地下鉄
 587：都市の化石地図
 588：健康手帖 ㊹高年者食事
 589：日本の私鉄 ㊹都営地下鉄
 590：焼酎入門
 591：健康食百科 ①胡麻種実食
 592：日本の私鉄 ㊹東海・北陸
 593：新幹線
 594：世界の客船
 595：日本の私鉄 ㊹神戸電鉄
 596：札幌の味

- 597：坂東33カ所
 598：日本の私鉄 ㊹近畿
 599：中山道
 600：日本人のルーツ
 601：日本の私鉄 ㊹特急電車
 602：カトレヤ
 603：近畿36不動尊
 604：日本の私鉄 ㊹私鉄の機関車
 605：変わりおりがみ
 606：写真 太閤記

現代用語の基礎知識 1983

理科年表 昭和58年

消防白書 昭和57年版

六法全書 昭和58年版

自由国民社

丸 善

大 蔵 省

有 斐 閣

寄贈図書

寄贈者 書名(著者)

日本アイ・ビー・エム(株) 朝永振一郎著作集

- 1：鳥獣戯画
- 2：物理学と私
- 4：科学と人間
- 5：科学者の社会的責任
- 6：開かれた研究所と指導者たち
- 7：物理学とは何だろうか
- 8：量子力学の世界像

(朝永振一郎)

〓本工作機械工業会 〓母なる機械、三十年の歩み

